

● 2026年、人間はものすごい薬を開発した。
● それは、飲めば何か一つ、動物の力を手にいれ
● ることができるといったものだった。
● ただ、その薬を飲めるのは、12才のたんじよ
● う日をむかえた男女で、人生につき1つぶとい
● った制限があった。
● 「行ってきます。」
● たかしは学校へと向かう。
● いつもと心の中がちがうのは、
● これからいつもとちがうことがおこるから。
● とちがうことがおこるから。
● たかしは今日、12才のたんじょうびをむかえ
● る。学校でのじゅぎょうなんて頭に入ってこな
● かった。
● ずっと前からなやんできたが、
● たかしは、薬を飲むことを決心した。
● 周りには薬を飲まずに、そのまま大人になる人
● 薬を飲んでいない人しか入れない会社も多い。
● 一度薬を飲んでしまっでは、もう後にはもどれ
● ない。
● それでもたかしには薬を飲まなくてはいけない
● 理由があった。
● 「あいつに勝ちたい」
● たかしには、よしおという小さいころから、共
● に空手を習ってきた、ライバルがいた。
● よしおとたかしは、ライバルであると同時に、
● 親友でもあった。

問い 1 ものすごい薬とは飲めば（ ）の力が
が手に入る。

問い 2 たかしとよしおは小さいころからライバルで
あると同時に（ ）でもあった。